

福島県における主要浮魚類の水揚げ状況

福島県水産試験場 海洋漁業部

1 部門名

水産業－資源管理－イワシ、サバ、サンマ、カツオ

2 担当者

千代窪孝志・池川正人

3 要旨

原発事故の影響により、福島県の沿岸漁業は操業自粛を余儀なくされている。一方、浮魚類を対象とするまき網漁業、さんま棒受網漁業などの沖合漁業では、漁獲物の安全性が確認されたため、津波被害からの応急復旧工事が終了した小名浜港（いわき市地方卸売市場小名浜魚市場）では2011年7月から、また、中之作港（中之作地方卸売市場）では2012年7月から水揚げが再開されているが、風評払拭等による水揚げの回復が課題となっている。そこで、主要浮魚類5魚種（カツオ、マイワシ、カタクチイワシ、サバ類、サンマ）について、両港の震災前5か年平均水揚げ状況を基準に経過を取りまとめた。

- (1) 震災後の年別水揚げ数量は、両港とも震災前5か年平均を下回り、小名浜港で震災前の24～38%、中之作港で0～3%となった。年別水揚げ金額は、小名浜港で震災前の19～33%、中之作港で0～4%であった。
- (2) 魚種別の水揚げ金額は、カツオで1～9%、マイワシで7～48%、カタクチイワシで0～27%、サバ類で45～118%、サンマで0～70%となり、サバ類およびサンマは持ち直しの傾向にあるが、震災前に大きな割合を占めたカツオの回復が低調であった。
- (3) まき網、さんま棒受網の水揚げ隻数は、小名浜港ではまき網で震災前の17～42%、さんま棒受網で26～65%、中之作港ではまき網で0～5%、さんま棒受網で0～33%となった。特に、県外船の回船がほとんどであった中之作のまき網で回復が低調であった。
- (4) 各魚種の資源状況をみると、カツオは高位・横ばい、マイワシは中位・増加傾向、カタクチイワシは中位・減少傾向、サバ類は中位・横ばい～増加傾向、サンマは中位・横ばいであり、サバ類の前年に対する水揚げ増加は資源状況を反映しているが、カツオ、マイワシは水揚げは増加せず、良好な資源状況が反映されていない。
- (5) 平均単価をみると、カツオは2012年、2013年にほぼ震災前並みに回復したものの、2014年に再び下落した。これは単価の安い冷凍カツオの水揚げが増加したためである。マイワシ、サバ類、サンマは震災前と比較し、並～やや高めで推移している。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～27年度
- (2) 研究課題名 浮魚類の持続的利用に関する研究
- (3) 参考となる成果の区分（指導参考）

5 主な参考文献・資料

- (1) 福島県水産課、福島県海面漁業漁獲高統計
- (2) 福島水試、福島県水産資源管理支援システム
- (3) 水産庁、日本周辺水域の資源評価ホームページ <http://abchan.job.affrc.go.jp/digests26/index.html>

表1 震災後の主要浮魚類における水揚げ状況

水揚港	魚種\年	数量(トン)					金額(百万円)				
		2006-2010 平均	2011	2012	2013	2014	2006-2010 平均	2011	2012	2013	2014
小名浜港	カツオ	4,050	19 (0.5%)	241 (6.0%)	380 (9.4%)	549 (13.6%)	1,053	3 (0.3%)	68 (6.5%)	93 (8.8%)	93 (8.8%)
	マイワシ	575	675 (117.3%)	88 (15.3%)	207 (36.0%)	217 (37.8%)	52	25 (47.9%)	3 (6.6%)	12 (22.8%)	18 (33.8%)
	カタクチイワシ	1,030	239 (23.2%)	- (0%)	4 (0.4%)	- (0.0%)	33	9 (26.7%)	- (0%)	0 (0.8%)	- (0%)
	サバ類	2,278	1,039 (45.6%)	792 (34.8%)	665 (29.2%)	1,520 (66.7%)	109	61 (56.1%)	49 (45.4%)	52 (47.9%)	128 (117.4%)
	サンマ	6,007	2,292 (38.1%)	3,267 (54.4%)	2,018 (33.6%)	3,038 (50.6%)	404	207 (51.3%)	203 (50.3%)	280 (69.4%)	312 (77.4%)
	5魚種計	13,941	4,263 (30.6%)	4,388 (31.5%)	3,274 (23.5%)	5,324 (38.2%)	1,650	305 (18.5%)	324 (19.6%)	437 (26.5%)	550 (33.4%)
中之作港	カツオ	4,669	- (0%)	26 (0.6%)	68 (1.5%)	98 (2.1%)	1,264	- (0%)	15 (1.2%)	34 (2.7%)	44 (3.5%)
	マイワシ	-	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)	-	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)
	カタクチイワシ	-	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)	-	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)
	サバ類	41	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)	2	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)
	サンマ	661	- (0%)	51 (7.8%)	21 (3.2%)	42 (6.3%)	46	- (0%)	4 (8.4%)	2 (4.8%)	3 (5.9%)
	5魚種計	5,371	0 (0.0%)	78 (1.4%)	89 (1.7%)	139 (2.6%)	1,312	0 (0.0%)	19 (1.4%)	36 (2.8%)	47 (3.6%)

※表中の()書きは2006～2010年平均値に対する比

表2 震災後のまき網およびさんま棒受網の水揚げ隻数

水揚港	漁業種類\年	2006-2010 平均	2011	2012	2013	2014
小名浜	まき網	181	30 (16.6%)	36 (19.9%)	58 (32.0%)	76 (42.0%)
	さんま棒受網	103	27 (26.2%)	67 (65.0%)	55 (53.4%)	65 (63.1%)
中之作	まき網	111	0 (0.0%)	1 (0.9%)	6 (5.4%)	6 (5.4%)
	さんま棒受網	9	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	3 (33.3%)

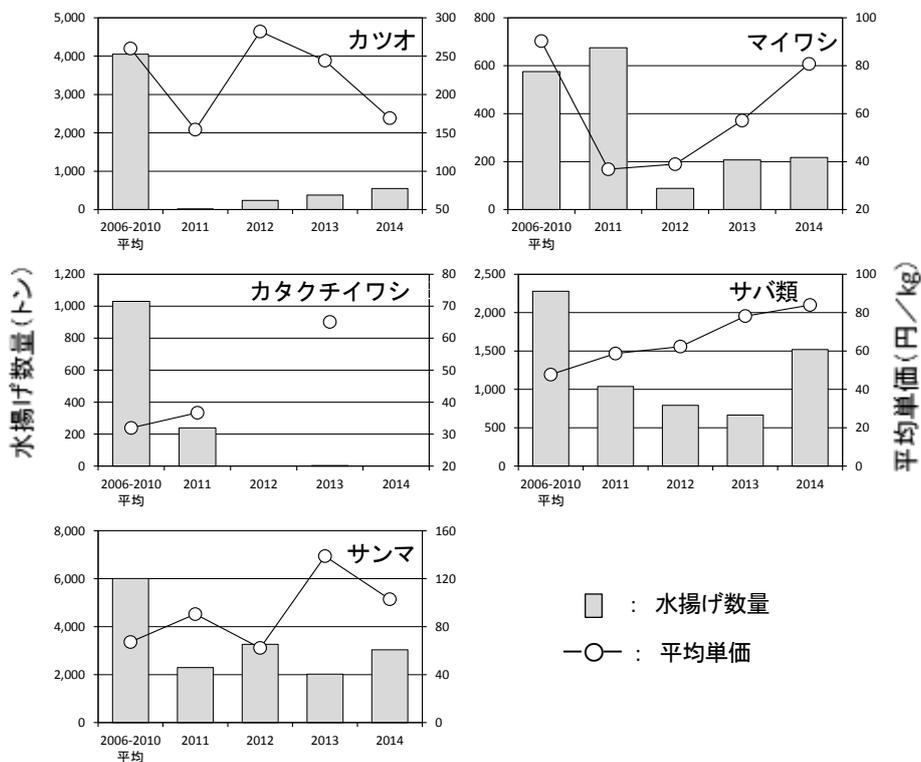


図1 主要浮魚類の水揚げ数量と平均単価の推移(小名浜港)